



このQRコードからHPを見ることが出来ます。



◆ 2学期の目標について

2学期の始業式に子ども達に次の3点を頑張っていこうと呼びかけました。

1. たちばなの「ほ・こ・り」を身に付けよう!

- ①「ほ」んき(本気)で取り組もう!
- ②「こ」んき(根気)強く最後までやりとげよう!
- ③「り」ーダーシップを発揮しよう!

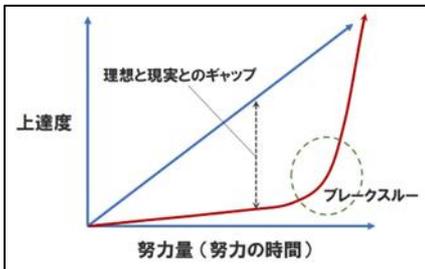
2. 「アクセル」「ブレーキ」「ハンドル」を身に付けよう!

- ①「アクセル」…しなければならないことは絶対にする!
- ②「ブレーキ」…してはいけないことは絶対にしない!
- ③「ハンドル」…間違いに気付いたら、正しい方に舵を切る!

3. 「失敗やうまくいかないこと」をチャンスと考え、ねばり強くチャレンジしよう!

特に今回は、3について詳しく話をしました。先行きが不透明で、将来の予測が困難な時代=※VUCA時代を生きる子ども達に一番必要とされているのが3の力です。でも、子ども達(私たちも(^_^))によっては、すぐにあきらめてしまったり、すねたり、途中で投げ出してしまう子どもも見られるようです。その際、よく使われる言葉が「3D」と呼ばれる言葉です。「だって(言い訳)」「でも(決めつけ)」「どうせ(あきらめ)」という言葉の頭文字をとった言葉なのですが、この3Dは、その後がすべて相手の話の否定につながり、ネガティブな言葉となってしまいます。まずはこの3Dを使わないことから始めてみようという提案しました。

※VUCAとは…変動性、不確実性、複雑性、曖昧性を表す造語



次に左の図「努力曲線」を示して、「できるようになるまで」を説明しました。

このグラフは頑張った時間とできるようになることを表したグラフですが、私たちは、頑張ったら頑張ただけでどんどんできるようになると思いがちです(青色の直線のイメージ)。しかし、実ははじめは努力しても努力してもなかなか成果はあがりません。

でも、それでもあきらめずに、いろいろとやり方を工夫しながら、根気強く取り組むと、あるとき突然「わかった!」「できた!」という時がやってきます(赤色の曲線のイメージ)。これを「ブレイクスルー」といいます。神経細胞のつながりには特定の刺激が加えられ続けられる必要があるため時間がかかるのです。勉強でも運動でも同じことが言えます。

ブレイクスルーの前にあきらめてしまうと、本当に「できない」まま終わることになります。私たち大人は自転車に乗ったり、縄跳びをしたり、九九を唱えたりなど、すでに経験しているので、なんとなく合点がいく人もいます。子ども達にはここまで難しい話はしていません。でも、子ども達が何かに頑張っている姿を見かけたら、私たち大人は、人と比べることなく(個人差がありますから)、ブレイクスルーを信じて、くじけそうになる気持ちを励ましていきたいものですね。

◆ お願い

朝の欠席や遅刻の連絡は8時15分までに、teturuで行うようお願いしていますが、おかげさまでずいぶん電話での連絡は少なくなり、朝から電話対応にとられる時間は大きく減りました。御協力ありがとうございます。

しかし、連絡なしでの遅刻や欠席はまだある状況です。これでは各担任が子どもの安全確認のため、電話連絡を行う必要があり、そのため、朝の会や1時間目の授業に支障が出ています。欠席、遅刻の際は、必ずteturuにて一報入れるように御協力いただきますようお願いいたします。ただし、8時15分以降の急な変更については、確実に伝わるよう電話連絡でお願いします。